

2010年6月 ITU-R WP1B 会合報告書

- 【会合名称】 ITU-R WP1B 会合
 (周波数管理手法に関する作業部会)
- 【会期】 2010年6月21日(月)～6月28日(月)
- 【開催場所】 スイス ジュネーブ ITU 本部
- 【概要】

本会合は、今研究期間における第5回会合である。40ヶ国の主管庁と7のROA (Recognized Operating Agencies)、3のSIO (Scientific or Industrial Organizations)、7の地域または国際機関事務局より計156名が参加した。日本からは、田邊、岩元(総務省)、小坂、村上、杉浦、福永(NICT)、立澤(国立天文台)、嶋田(三菱電機)、三浦(パナソニックモバイルコミュニケーションズ)、木佐貫(新日本無線)、北沢(K&Aスペクトラムインテグレーション)、橋本(日本無線)、森(ワシントンコア)の13名が参加した。

日本、韓国、カナダ、米国などからの寄与文書及び前回の議長報告と他グループからのリエゾン文書を含め合計52件の文書が入力され、12件の出力文書が作成された。出力文書の内訳は：報告書改定案が3件、CPMテキスト文書が2件、その他が7件となっている。主なものは以下のとおり。

- ✓ 報告書改定案：1B/TEMP/106, 107, 108
 - ・ Draft modification of Report ITU-R SM.2153
 - ・ Draft modification of Report ITU-R SM.2093
 - ・ Draft revision of Report ITU-R SM.2012-2
- ✓ CPMテキスト文書：1B/TEMP/66, 69
 - ・ Draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19 - Chapter 6
 - ・ Draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.2 - Chapter 6

会議では、3つのWorking Group (WG)等が設置され、下記の担当事項の審議が行なわれた。会議の構成は表-1のとおりである。

表-1 会議の構成と各グループの担当事項

Working Party 1B 議長：Mr. S. Pastukh (RUS)
Working Group 1B-1 議長：Mr. F. M. Yurdal (ECO) 担当：ショートレンジデバイス等
Working Group 1B-2 議長：Mr. J. Conner (USA) 担当：WRC-12議題1.19
Working Group 1B-3 議長：Mr. N. Al Rashedi (UAE) 担当：WRC-12議題1.2
Ad hoc Group 議長：Mr. D. Barrett (G) 担当：ITU-R勧告SM.1413 - RDD

次回のWP1B会合は2011年5月にスイス(ジュネーブ)にて開催される予定である。WRC議題に関連するReportの策定作業、WP1Bに関連する勧告の改定作業などが実施される予定。

各事項の審議結果

1	WORKING GROUP 1B-1 (議長: MR. F. YURDAL (ECO)).....	3
1.1	ショートレンジデバイス(SRD)関係.....	3
1.1.1	報告書 ITU-R SM.2153 の改定	3
1.1.2	新勧告案 ITU-R SM.[SRD] FREQUENCY BANDS REGIONALLY OR GLOBALLY IDENTIFIED FOR SRDS	3
1.1.3	PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R SM.[RFID] : DG1B-1-1(議長 A. ONGARO 氏(加)).....	4
1.1.4	TSAG へのリエゾン文書	5
1.1.5	SRD にかかわる WP1A との JOINT MEETING.....	5
1.2	報告書 ITU-R SM.2093(GUIDANCE ON THE REGULATORY FRAMEWORK FOR NATIONAL SPECTRUM MANAGEMENT)の改定	5
1.3	報告書 ITU-R SM.2012(ECONOMIC ASPECTS OF SPECTRUM MANAGEMENT)の改定 : DG1B-1-2 (議長 H. SHARIF(UAE)	6
1.4	その他	6
2	WORKING GROUP 1B-2 (議長:MR. J. CONNER (米))	7
2.1	ソフトウェア無線及びコグニティブ無線.....	7
3	WORKING GROUP 1B-3 (議長: MR. N. AL RASHEDI (UAE))	8
3.1	国際的な周波数管理枠組の見直し	8

1 Working Group 1B-1 (議長: Mr. F. Yurdal (ECO))

WG1B-1 は、WRC の議題 1.22 関係を除く SRD(Short Range Device)と National spectrum management に関する事項を所掌した。SRD 関係については、並行して行われている WP1A の議題 1.22 の作業にリンクできるように、早い時期に出力文書を完成させる必要があったため、比較的短期間に WG での作業は終了した。しかし、プレナリでは最後まで議論が紛糾した。なお、WG1B-1 には新報告書草案 ITU-R SM.[RFID]に関する DG が設立された。

1.1 ショートレンジデバイス(SRD)関係

1.1.1 報告書ITU-R SM.2153の改定

入力文書：1B/220(ドイツ)、221(ベラルーシ)、229(APT)、254(UAE)、

出力文書：1B/TEMP/60R1(DRRep)

(1) 主要結果

報告書 ITU-R SM.2153 の改定案が承認され今年 9 月の SG1 会合に提出されることになった。

Doc.1B/TEMP/60R1 Draft Modification of Report ITU-R SM.2153 - Technical and operating parameters and spectrum use for short range radiocommunication device

(2) 審議概要

報告書 SM.2153 の改定を提案する 4 つの寄書が入力された。Doc. 1B/220(ドイツ)は、CEPT における SRD の情報の更新を提案。Doc. 1B/221(ベラルーシ)は、RCC における SRD 情報の追加を提案するもの。Doc. 1B/229(APT)は、APT 諸国の SRD の情報追加を提案しており、実質的には韓国の寄書。Doc. 1B/254(UAE)は、UAE の情報の更新を提案するもの。

修正提案はいずれも、各国あるいは地域の情報の追加や更新であったため、WG 議長が提案内容を反映した文書を作成し、特段のコメントなく WG の作業は完了した。しかし、プレナリにおいては、CEPT 情報の一部について確認が必要であることから、CEPT 諸国がオフラインで確認を行っている。また、中国からの意見により、香港の位置づけを反映するよう表のタイトル中の「APT 諸国」が「APT 諸国およびテリトリー」に改定された。本文書は今年 9 月の SG1 会合に提出することがプレナリ会合で決定したが、その後シリアからは、報告書 SM.2153 については、WP1B プレナリ会合の承認を取りさげ、AI 1.22 関連の 3 つの文書と 1 セットとして、来年 5 月開催が提案されている WP1A と 1B の Joint Meeting(1.1.5 節参照)で扱うべきとの意見があった。このシリアからの意見は議長報告にノートすることとなった。

1.1.2 新勧告案ITU-R SM.[SRD] Frequency Bands Regionally or Globally Identified for SRDs

入力文書：1B/240(加)、253(UAE)、

出力文書：1B/TEMP/63R1(PDNR)

(1) 主要結果

DNR(勧告案)としてプレナリで審議されたが、PDNR として次回会合に継続審議とされた。

Doc.1B/TEMP/63R1: Draft New Rec. ITU-R SM.[SRD] - Frequency bands regionally or globally identified for short-range devices (SRDs)

(2) 審議概要

本勧告草案は決議 ITU-R. 54 に基づく作業結果であり、勧告草案の Annex 1 に示される周波数帯を SRD の Harmonized band として考慮することを勧告している。

Doc. 1B/240(加)は、Scope の修正、及び新勧告案(DNR)へ格上げさせることを提案するもの。Doc. 1B/253(UAE)は、Considering、Recognizing 部分の文言修正および SRD 周波数帯に関する一部修正を提案するもの。WG では、WG 議長が作成した新勧告案(DNR)をもとに審議が行われ、Considering、Recognizing の修正、Noting の削除のほか、DNR としての体裁が整えられて承認された。

しかし、プレナリでは議論が紛糾しアドホックグループによる修正作業も試みられたが、結局合意に至らず、PDNR のままを次回会合で再度審議されることとなった。主な議論は以下の通りである。

- Scope や Considering に cross border の記載がされていることへの懸念(フランス、オランダ)があり、削除や表現変更の提案があった。しかし、シリアはこれに反対し、また、WP1A と 1B の Joint Meeting で再検討すべきとの見解を示した。
- SRD が無線通信業務であるか否か、という点について、シリアは、無線通信業務か否かを定めることができるのは WRC のみであるとした。(Considering f))
- SRD に Cognitive radio を使用したのがあるとの表現について、シリアより削除の提案が、カナダより保持の提案が出された。(Considering i))
- スウェーデンは、Further considering の記述表現(which use frequencies that are globally harmonized for radiocommunication services)に懸念を表明。フランスがこれを支持し、当概文章を削除すべきとの意見。これに、シリアが反対した。
- シリアからは、Harmonized bands として 25 もの帯域が示されており、Region ごとに統一されておらず Harmonize が必要であるとの指摘や、また、ISM バンドを含むべきではないとの意見。オランダからも、7400 - 8800 kHz は[]にすべきとの意見。また、WMO とカナダより、表中の 5GHz 帯 (5 150-5 350 MHz、5 470-5 725 MHz) は多用途に使われているため Harmonized band として承認できないとの意見があった。

1.1.3 Preliminary Draft New Report ITU-R SM.[RFID] : DG1B-1-1(議長 A. Ongaro氏(加))

入力文書 : 1B/222(マレーシア)、228(APT)、230(Brazil)、233(英)、247(日本)

出力文書 : 1B/TEMP/64(PDNRRep)

(1) 主要結果

報告書の改定案として以下の文書がプレナリに提出されたが、2011 年 5 月の次の WP1B 会合で継続審議することとした。

Doc.TEMP/64 Draft New Report ITU-R SM.[RFID]: Technical characteristics, standards, and frequency bands of operation for RFID and potential harmonization opportunities

(2) 審議概要

Doc. 1B/222(マレーシア)は、マレーシアの RFID 関係情報の追加提案。Doc. 1B/228(APT)は、APT 諸国の RFID の情報追加提案であり、実質的に韓国の寄書。Doc. 1B/230(ブラジル)は、ブラジルの RFID の情報を入力するもの。Doc. 1B/233(英)は、英国、EU の RFID 情報が表中に別々に記載されていたものを、EU の情報として、統合させるもの。Doc. 1B/247(日本)は日本の RFID の情報を入力するもの。

上述の寄書のうちマレーシアと日本の情報は、APT 寄書の記載内容と一部重複したが、日本とマレーシア寄書に含まれている情報を優先的に反映することとした。この結果、日本の入力寄書(Doc.1B/247)は、出力文書に提案どおり反映された。なお、APT の情報(Doc.1A/228)については、国によっては、情報が不明確であったり、また、並行して提出されている SRD 勧告への入力(Doc.1B/229)との情報の不一致があった。このような部分については、記載はしないこととし、明確な部分のみの記載とすることとした。

WG1B-1 の出力は新報告書案としてプレナリに提出された。しかし、シリアは新勧告案 (Doc.1B/TEMP/63R1)とともにWP1Aで審議されている議題 1.22に関連した内容であるとし、Joint meetingで審議すべきとした。その結果、本文書は議長報告へ PDNRepとして添付することとし、2011年5月の次のWP1A、1B会合で、WP1Aの「Preliminary Draft New Report on WRC-12 AGENDA ITEM 1.22 (1A/117)」とあわせて審議することが予定されている。

1.1.4 TSAGへのリエゾン文書

入力文書：212(TSAG Chairman)

出力文書：1B/TEMP/59(LS)

(1) 主要結果

TSAGへの以下の返書が承認された。

Doc.1B/TEMP/59 Reply Liaison Statement to TSAG on the involvement of the ITU-R sector in the JCA-NID to address coordination of NID/USN/RFID standardization

(2) 審議概要

Doc. 1B/212(TSAG Chairman)は、TSAGで設立されたJCA-NID(Joint Coordination Activity on Network Aspects of Identification Systems (including RFID))へのITU-Rの協力を求めたりエゾン文書(LS)である。WG1B-1議長がLS返書案を作成し、審議された。

本LS返書は、WP1Bでは、SRDに関する勧告とRFIDに関する報告書について作業中であることを述べ、使用周波数帯を含む無線通信に関わる事項については、決定する前にWP1Bに連絡するように要請している。なお、議長の依頼でコンタクトパーソンは韓国が引き受けた。

1.1.5 SRDにかかわるWP1AとのJoint Meeting

議題 1.22とITU-R決議 54に関する事項は、まとめて議論される必要があり、WP1AとWP1BのJoint Meetingを設置し、検討すべきとの意見がシリアから出された。このようなグループを設定する要望があったことについてWP1B議長報告に記載されることになった。

Joint Meetingについては、カウンセラーからSG会合が承認するなら、次回5月会合の初日に開催する用意があることが説明された。2010年9月のSG1で具体的な進め方について審議することとした。

なお、シリアからは、勧告案と報告書案の2つの文書のみでの添付ではなく、報告書SM.2153の修正案についても、WP1Bプレナリ会合の承認を取りさげ、これら3つの文書を1セットとして、来年5月に予定としているWP1Aと1BのJoint Meetingが扱うべきとの意見であった。このシリアからの意見は議長報告にNoteすることとした。

1.2 報告書ITU-R SM.2093(Guidance on the regulatory framework for national spectrum management)の改定

入力文書：なし

出力文書：1B/TEMP/61(DRRep)

(1) 主要結果

以下の報告書ITU-R SM.2093の修正案が承認された。

Doc.1B/TEMP/61 Draft modification of Report ITU-R SM.2093 - Guidance on the regulatory framework for national spectrum management

(2) 審議概要

報告書 ITU-R SM.2093（国内の周波数管理の規定に関するガイドライン）に関しては各国の情報をさらに追加することが要請されており、次回会合以降についても、各国に対して、入力が要請された。報告書 ITU-R SM.2093 の Introduction には古い情報が含まれたままであったため、WP1B-1 議長が本修正案を作成し、承認された。

1.3 報告書ITU-R SM.2012(Economic aspects of Spectrum Management)の改定：DG1B-1-2（議長 H. Sharif(UAE)

入力文書：239(CAN), 249(EGY), 255(UAE)

出力文書：1B/TEMP/58(DRRRep)

(1) 主要結果

報告 ITU-R SM.2012 の改定作業が進められ、報告書の改定案が作成された。

Doc. 1B/TEMP/58 Draft revision of Report ITU-R SM.2012-2 - Economic aspects of spectrum management

(2) 審議概要

Doc.1B/255(UAE)は報告 ITU-R SM.2012 の改訂に関するコレスポネンス・グループ議長(UAE の Mr. Sharif)からの報告であり、寄書の数に限定的である状況から、本テーマに関する興味を各国主管庁に問い、今後の活動について検討する予定であることが述べられている。Doc. 1B/239(加) は、カナダの周波数管理に関する情報の更新を提案するもの。Doc. 1B/249(エジプト)は、エディトリアルな修正提案。

本改定は UAE の Sharif 氏による軽佻な修正作業の結果である。内容については問題がないとされたが、リンクがはられている URL が機能しない箇所や、報告書の正式名の訂正が必要な箇所など表記上、編集面でのさらなる改定を行い 2010 年 9 月の SG1 に提出することを決定した。スウェーデンが、「無線周波数は国家の資産である (The radio-frequency spectrum is the property of the State) との 2.2.1 節の記述に懸念を示し、SG1 のレベルでコメントすると の表明があり、議長報告に記すこととした。なお、10 カ国以上の寄書によりまとめられた文章であり、また 2.2.1 も ITU-D によりアップデートされたものであることから、尊重されるべきだとの UAE のコメントがあった。

1.4 その他

入力文書：211(WP1A), 256 (UAE)

Doc. 1B/211(WP1A)は議題 1.22 に関するさらなる情報を関連 WP に求めるもの。特段のコメントはなくノートされた。

Doc. 1B/256(UAE)は WP1A にも入力されている文書であり、GSM900 のセンターバンドギャップ(915 - 925MHz)において、高速道路の料金徴収用途の RFID を運用した際のフィールドテスト結果を報告するもの。SRD は他のサービスに影響を与えてはいけないという前提であり、注意喚起として情報を共有するための位置付けの寄書であることが説明された。本寄書におけるフィールドテスト結果に関する情報は、WP1A の CPM テキストにも一部反映されており、さらに WP1B の出力文書については、ITU-R SM.[RFID]の UAE における RFID に関する情報と合わせ、脚注情報として反映されることとなった。

2. Working Group 1B-2 (議長:Mr. J. Conner (米))

2.1 ソフトウェア無線及びコグニティブ無線

入力文書：1B/169+Corr.1 (CPM-11 議長), 1B/210 Annex 7, 8 (前回会合の WP1B 議長報告), 1B/214 (IEEE)[†], 215 (CCV 議長), 1B/219*(IMO), 1B/223 (IUCAF), 1B/224 (NABA), 1B/225 (ロシア), 1B/227 (アメリカ), 1B/231 (ドイツ), 1B/232 (イタリア), 1B/235 (スウェーデン), 1B/236 (CBS), 1B/237 (カナダ), 1B/242 (AsiaSat), 1B/244 (ドイツ, フィンランド, オランダ, イタリア, スウェーデン), 1B/250 (エジプト), 1B/251 (フィンランド), 1B/252 (フィンランド, オランダ), 262 (WP 7D)

[†]: 情報提供のみ

*: 議題 1.19 に関連のある個所のみ

出力文書：1B/267 Annex 5, 6 (WP1B 議長報告) (Source: 1B/TEMP/65(ITU-R 決議 SM.[CRS]の PDNR 文章), 1B/TEMP/66 Rev.1(議題 1.19 に関する CPM 文章))

(1) 主要結果

WRC-12 議題 1.19 として掲げられているソフトウェア無線(Software-defined radio, SDR)及びコグニティブ無線(Cognitive radio systems, CRS)について、CPM 文書を完成させた。SDR に関しては、RR の変更は不要という結論に至ったが、CRS については 2 つの method が併記され、かつオプションまで含めると 3 つが併記される形としてまとめられた。

(2) 審議概要

WG1B-2 は、実質的に CPM 文章についてのみ扱うこととなり、特に SWG が形成されることがなかったが、複数の提案が出た個所や意見の対立があったところでは、関係者による非公式な DG が形成され、妥結案が作られていった。

はじめに、CPM 文章の結論(Method)を示す。

Issue A: Software-defined radios (SDR)

- Method A: No change to the Radio Regulations

Issue B: Cognitive radio systems (CRS)

- Method B1: No change to the Radio Regulations

- Option A: No change to the Radio Regulations

- Option B: No change to the Radio Regulations and an ITU-R Resolution providing guidance for further studies on CRS

- Method B2: Add a WRC Resolution providing guidance for further studies and guidance for the use of CRS and no other changes to the Radio Regulations

SDR については、既存の無線業務内で利用されることが想定され、RR の変更は不要であるという認識で一致し、Method A1 として合意した。

CRS については、2 つの method が併記され、かつオプションまで含めると 3 案併記として文章が仕上げられた。

前会期では、更なる CRS の可能性について検討を推進する Method と、衛星やライフラインとなる通信の帯域での CRS の利用の規制を検討する Method が提案され、最後まで妥協に至らずに両論併記となっていた。今会期では更なる CRS の可能性と、CRS による他システムへの影響について検討を進めることとした、妥協案が作成され、無事合意に至った。(上記の Method B2)

その一方、欧州のいくつかの国より、RR の修正を伴う WRC 決議を作成する代わりに、ITU-R 決議とする提案(1B/244 など)がされた。これはつまり、RR の変更は伴わないということであることより、Method B1 の 1 オプションであるという扱いとされた。この ITU-R 決議

は、CPM 文章そのものには含めずに参照する形とすることで合意した。Workplan において、今会期は CPM 文章の作成のみを扱うことになっていたので、この ITU-R 決議案は PDNR とされ、内容自体は審議されずに次回にキャリアフォワードされることとなった。(上記の Method B1 Option B)

なお、RR は変更不要で、関連決議も作成しない、というオプションも Method B1 Option A として残されている。

今後の本 WG としての活動としては、次回会合で審議されなかった PDNR 文章(Method B1 Option B に関連した ITU-R 決議)について審議される見込みである。

3 Working Group 1B-3 (議長: Mr. N. Al Rashedi (UAE))

3.1 国際的な周波数管理枠組の見直し

入力文書 : 169+Corr.1 (Chairman, CPM), 213 (WP 4A), 216 (WP 6A), 217 (RUS), 218 (RUS), 219 (IMO), 226 (RUS), 238 (CAN), 241 (CAN), 243 (AsiaSat), 245 (D/F/HOL/S), 246 (F), 248 (IND), 257 (LUX), 258 (Telenor), 259 (UAE), 260 (USA), 261 (WP 7B), 264 (WP 7C)

出力文書 : 1B/TEMP/62, 68(Rev.1), 69

(1)主要結果

周波数管理枠組の見直しについて各国からの寄与文書を元に議論がなされた。CPM テキストについては、これまで提案されていた Method に加えて、テレノアにより Method A4 が追加された上で各 Method の内容が審議された。本会合で完成した CPM テキスト (TEMP/69 Draft CPM TEXT on WRC-12 Agenda Item 1.2) には、以下の Method が含まれることとなった。

Issue A: 地上業務間の融合

Method A1 : 現行維持

Method A2 : 固定業務、固定局、移動局及び地上局の既存定義の変更

Method A3 : 固定業務の定義変更と RR における関連条項の変更 (RR 第 11 条と APPENDIX 4)

Method A4 : 固定業務に関連する APPENDIX 4 の修正

Issue B : 一般周波数割当原則

Method B1 : 現行維持

Method B2: 勧告 34 (WRC-95) (周波数分配の根本原則) の削除と新 WRC 決議の提案

各 Method のアドバンテージ、ディスアドバンテージについては過去の会合でも十分な審議時間を確保できないまま、先送りとなってきた経緯があるが、本会合でも可能な限り審議を重ねたものの全部で 6 つある Method のうち 1 つの Method の審議だけでも結論が出ないままで時間切れとなり全体的に難航した。最終日まで議論は紛糾したが、結局のところ、CPM テキストにはアドバンテージ、ディスアドバンテージを記載しないという結論にまとまった。これまでの寄書から抽出された各 Method のアドバンテージ、ディスアドバンテージについては、あくまで参考情報として WP1B 議長報告に添付されることとなった。

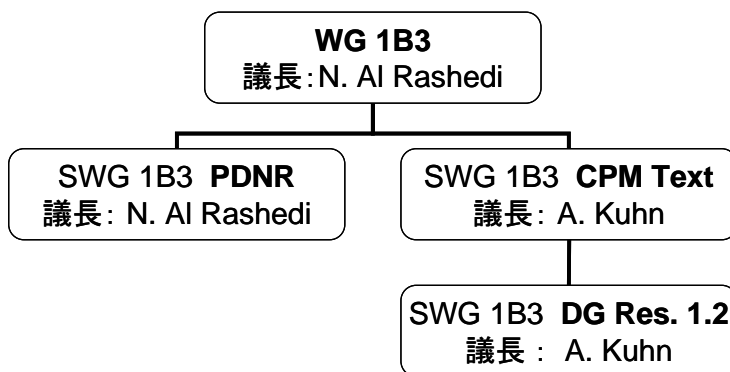
なお、新 WRC 決議を提案する Method B2 についても具体的な決議内容が最終化されたが、既存の勧告 34 を維持するべきであるとしてシリアが強く反対した。このため、例外的な対応ではあるが CPM テキスト内に何らかの形でシリアのリザーベーションを記載することとなった。

また、各国の提案を列挙した「WRC-12 議題 1.2 に関連した国際周波数管理枠組の見直しに関する新研究レポート草案に向けた作業文書(Working document towards a preliminary draft new Report on enhancing the International Regulatory Framework - In relation to WRC-12 Agenda item 1.2) (PDNReport)」では、主に Annex 1 Study1 の一部修正 (カナダ) とロシア提案より新たに ANNEX3 が追加された。PDNRep 改訂作業は今後はコレスポネン ス・グループを通じて、2011 年 5 月開催予定の WP1B 第 6 回会合まで継続されることにな った。

(2)審議概要

前回まで設立されていた 2 つの SWG-1B3 CPM-Text、SWG-1B3 PDNReport に加えて、CPM テキストに含める決議内容を審議するドラフティンググループが新設され、以下のような構成で 審議が進められた。なお、本会合の最大の目標は CPM テキストを完成させることであるため、 PDNR に割く時間は限定的にして可能な範囲で審議することとされた。

図表 1: WG1B3 の構成



* SWG 1B3 PDNR については前回まで議長を務めていた S.Y.Tan 氏(英)が不参加であったため、WG 1B3 議長 が兼任した。

CPM テキスト案に向けた作業文書(CPM テキスト案)

(1) 地上業務間の融合のための Method

地上業務間の融合のための Method としては、これまで 3 つの Method が提案されてきたが、今回、テレノア提案により A4 が追加された。この Method は、RR 第 1 条において固定業務 はポイントツーポイントに限定される定義となっている点を受け、この変更をせず、 APPENDIX 4 の表 1 のみの修正を提案するもの。固定業務の通告は地理的座標が指定できる 無線局のみに限定される、という考えが前提となっており、特定の地点で運用されない無線 局 (例: 特定地域内の固定局) は通告されない。

また、欧州共同提案である A3 では、固定業務に「特定の地点(specified fixed point)と特定 地域内の地点(fixed point in a specified area)の間の通信」も含めるとするものであるが、これ らのトポロジーにおいても端末が動くことは許されていない点がフランスから明確にされた。 そのため、特定地域ー特定地域 (エリアーエリア) 間の通信は固定業務とは定義されない。 また、衛星と周波数を共用している帯域においてはノマディックの利用は許可されず、これ らの帯域において固定業務とされる無線局はすべてが特定の地点にあることが求められる点 もあわせて明確にされた。

これらの Method の提案内容と主な支持国は以下の通り。

図表 2: 各 Method の内容と主な支持国 (○:変更あり ×:変更なし)

Method	RR 条項の改訂		APPENDIX 4 Table1 (通告様式) の変更	【参考】 寄書、発言内容 等から判断される主な 支持国・メンバ
	RR 第 1 条 (定義変更)	その他 RR 改訂		
A1	×	×	×	UAE、ルクセンブルク、 米国、ロシア
A2	固定業務、固定局 移動局、地上局	×	△*	カナダ
A3	固定業務	RR11.9	○	フランス、スウェーデン、 オランダ、ドイツ
A4	×	×	○	テレノア

* RR 第 1 条の変更により影響があれば APPENDIX 4 の変更が必要となる可能性が注記されている

(2) 一般的周波数割当原則 (Issue B) に関する Method

一般的周波数割当原則(Issue B)に関しては、主に B2 で提案されている決議の内容が審議された。RESOLVES に記載されている「もっとも広義に定義される業務に周波数を割り当てること (frequency bands are allocated to the most broadly defined services)」について、例えば海洋無線など特定の狭義な定義がなされている業務が差別的に扱われる響きがあるとして、カナダ、ルクセンブルクから懸念が示されたため、ロシア提案により広義・狭義に定義された業務について解説している ITU-R 勧告 SM.1133 についての参照が Editors Note に付記されることになった。

また、同じく RESOLVES の項にて「デジタル格差や気候変動および (または) 社会、経済、環境に関するイニシアチブなどに周波数割当が及ぼす影響を考慮すること」という記載について、ロッキードマーチンの提案で社会、経済、環境に加えて「セキュリティ」の追加が提案され、米国がこれを支持したが、スウェーデン、イタリア、シリアが反対したため「(社会、経済、環境に加えて) その他の関連 ITU PP、WRC 決議 (なども考慮すること)」という妥協案に落ち着いた。

Method B2 の内容は上記を反映させる形で最終化されたが、シリアが本 Method への強い反対を示し、「シリアは勧告 34 を維持すべきであると考える」といったリザベーションを記載したいとした。CPM テキストにこのような記載を入れることは極めて稀であるとされたが、脚注表記になるか本文での Statement になるかは ITU-R の手順に則するという前提で、今後、適宜対応される予定。

(3) CPM テキストにおけるアドバンテージ、ディスアドバンテージの取り扱いについて

議題 1.2 に関する CPM テキストに記載される各 Method のアドバンテージ、ディスアドバンテージについてはこれまでも議論が紛糾し、合意形成が難航してきたという経緯がある。本会合においても同様の展開となり、本会合の後半まで議論は先送りにされてきた。結局のところ「CPM テキストにアドバンテージ、ディスアドバンテージが含まれていなかったことは過去になく、これを含めないことは ITU 慣行から大きくはずれたもの」と主張するシリアと、「長時間にわたる議論の末、Method A1 のアドバンテージ、ディスアドバンテージについてさえ合意に至れていない事実を受け、現実的解が必要である」とするカナダ、オランダ、フランス、スウェーデン、米国との間で意見が対立した。結局、WP1B 議長が後者を支持したこともあり、各 Method のアドバンテージ、ディスアドバンテージは CPM テキストには記載しないこととなった。その代わりに、これまでの各国からの寄書をベースとして各 Method のアドバンテージ、ディスアドバンテージをリスト化し、「議題 1.2 に関して提案された Method のアドバンテージとディスアドバンテージに関する情報」というタイトルの文

書を WP1B 議長報告の ANNEX として別途添付することになった。

ITU-R レポートに向けての作業文書 (PDN Report)

本作業文書に関する主な審議内容は以下の通り。

- ANNEX1 Study1 3章「固定・移動業務に割り当てられている現在の周波数割当状況」表 1 の中身については、RR 第 5 条と照らし合わせて正確性を確認する必要がある旨、追記された。また、シリアの要請で RR 決議 26、27、28 も参照することが併記された。
- 一方、MS、FS、BS のいずれかに分配されているバンドには 3 つの業務を全て割り当てるという考え方を示した ANNEX1 Study2 は現時点ではほとんど情報が記載されていない状況であり、次回会合までに具体的な寄書がなければ本 Study については削除することになった。
- ロシアの寄書が ANNEX3 として新たに追加された。これはあくまで現在の固定・移動業務への周波数割当状況を整理・確認したものであり、特段の議論はなかった。

作業文書は上記のような改訂が加えられた上で、TEMP/62 として議長報告に添付されることとなったが、本会合では PDNR に関する審議について十分な時間を確保できなかったことから、PDNR 改訂作業は今後も、コレスポンドンス・グループ (CG) を設立することで継続することになった。これにあたり、TEMP/68 Terms of Reference for the Correspondence Group on Development of Preliminary Draft New Report ITU-R SM. [WRC-12 AGENDA ITEM 1.2] が作成され、CG 議長はカナダの主管庁が担当することとなった。

本 CG の主なタスクは、構成や内容に関して変更必要箇所がないかを確認すると同時に、上述の ANNEX1、Study1 3章および ANNEX3 に記載されている表の中身について精査・確認することとされた。本 CG の活動は次回の WP1B 会合 (2011 年 5 月開催予定) にて報告される予定。

入力文書

文書 番号 (1B/##)	提出元	表題	
211	WP 1A	Liaison statement to Working Parties 1B, 3K, 4A, 5A, 5D, 6A and 7C	議題 1.22 に関するリエゾン文書
212	TSAG Chairman	Liaison statement to involve the ITU-R Sector in the JCA-NID to address coordination of NID/USN/RFID standardization	NID/USN/RFID の標準化の調整における対応のために、ITU-R セクターを JCA-NID の活動に連携を求めるリエゾン文書
213	WP 4A	Liaison statement to Working Party 1B - WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2 へのリエゾン文書
214	IEEE	IEEE Standards Coordinating Committee 41 - Briefing to ITU-R Working Party 5A	ITU-R WP5A への IEEE SCC41 の概要説明
215	Chairman、 CCV	Liaison statement to Study Group 1 and Working Party 1B - Issues on terminology raised at the CCV/1-10 meeting of the Coordination Committee for Vocabulary (CCV)	SG1 及び WP1B へのリエゾン文書 CCV/1-10 会合において挙げられた専門用語に関する課題
216	WP 6A	Liaison statement on WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2 へのリエゾン文書
217	Russia	Proposed modification to working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2 の CPM テキスト案の修正提案
218	Russia	Proposed modification to working document towards a preliminary draft new Report on enhancing the international regulatory framework - In relation to WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2 の暫定新報告書案の修正提案
219	International Maritime Organization	Draft IMO position on WRC-12 Agenda items concerning matters relating to maritime services	海上業務に関連する事項に関する WRC-12 議題に関する IMO 見解案
220	Germany	Proposal regarding the update of Report ITU-R SM.2153 - Technical and operating parameters and spectrum requirements for short-range devices	報告書 ITU-R SM.2153 のアップデートに関する提案 SRD の技術的、運用パラメータと周波数要求条件
221	Belarus	Preliminary draft modification of Report ITU-R SM.2153	SM.2153 の暫定報告書修正案
222	Malaysia	Proposed Revisions to the Working Document Towards a Preliminary Draft New Report ITU-R SM.[RFID]	暫定新報告書案 ITU-R SM. (RFID) に向けたワーキングドキュメントの改定提案
223	IUCAF	Proposed Modifications for Working Document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題 1.19 CPM テキスト案作業文書への修正提案
224	NABA	Comments on the Working Document towards draft CPM Text on WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題 1.19 に係る CPM テキストに対する作業文書に関するコメント
225	Russia	Proposed Modification to Working Document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題 1.19 に係る CPM テキスト案作業文書への修正提案
226	Russia	Proposed modification to working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2 の CPM テキスト案の作業文書への修正提案
227	United States of America	Proposed revisions to the working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題 1.19 の CPM テキスト案の作業文書への改定提案

文書 番号 (1B/##)	提出元	表題	
228	Asia Pacific Telecommunity (APT)	APT Common Views on proposals for a preliminary draft new report ITU-R SM.[RFID]	新暫定報告書案 SM. (RFID) への提案に関する APT の共通見解
229	Asia Pacific Telecommunity (APT)	APT common views on preliminary draft modification of report ITU-R SM.2153	報告書 SM.2153 の暫定修正案に関する APT の共通見解
230	Brazil	Contribution to working document towards a preliminary draft new report ITU-R SM.[RFID]	暫定報告書案 SM. (RFID) の作業文書に対する寄与文書
231	Germany	Development of CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題 1.19 CPM テキストの作成
232	Italy	Working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題 1.19 に係る CPM テキスト案に対する作業文書
233	UK	Proposed revision of the working document towards a preliminary draft new report ITU-R SM.[RFID]	暫定新報告書案 SM. (RFID) に向けた作業文書に関する改定提案
234	UK	Preliminary draft revision of ITU-R SM.1413-2 - Radiocommunication Data Dictionary (RDD)	ITU-R SM.1413-2 の暫定改定案 (無線通信データ辞書)
235	Sweden	Proposals for modifications of draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題 1.19 に係る CPM テキスト案に対する修正提案
236	CBS, Inc.	Comments on the working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題 1.19 に係る CPM テキストに対する作業文書に関するコメント
237	Canada	Proposed modifications to the working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題 1.19 に係る CPM テキスト案の作業文書に対する修正提案
238	Canada	Revisions to the working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2 の CPM テキスト案の作業文書に対する改定
239	Canada	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2012-2	報告書 ITU-RSM.2012-2 の暫定改定案に対する作業文書
240	Canada	Proposed revisions to working document towards a preliminary draft new recommendation ITU-R SM.[SRD]	暫定新勧告案 ITU-R SM. (SRD) に向けた作業文書の改定提案
241	Canada	Proposed revision to working document towards a preliminary draft new Report - ITU-R SM.[WRC-12 Agenda item 1.2]	WRC-12 議題 1.2 に関する暫定新報告書案 ITU-R SM (WRC-12 議題 1.2) に向けた作業文書の改定提案
242	Asia Sat	Proposed revisions to the working document towards draft CPM text (Agenda item 1.19)	議題 1.19 に係る CPM テキスト案に対する改定提案
243	Asia Sat	WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2
244	France、Sweden、Netherlands、Germany	Proposed changes to the working document towards - Draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2 の CPM テキスト案に対する作業文書への修正提案
245	France、Sweden、Netherlands、Germany	Proposed changes to the working document towards - Draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2 の CPM テキスト案に対する作業文書への変更提案
246	France	Preliminary draft new Report ITU-R SM.[WRC-12 Agenda item 1.2]	WRC-12 議題 1.2 における暫定新報告書案 ITU-RSM (WRC-12 議題 1.2)

文書 番号 (1B/##)	提出元	表題	
247	Japan	Proposed modifications to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[RFID]	暫定新報告書案 ITU-R SM (RFID) に向けた作業文書の修正提案
248	India	Proposed modification to working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2 の CPM テキスト案への修正提案
249	Egypt	Preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2012-2 - Economic aspects of Spectrum Management	報告書 ITU-RSM2012-2 (周波数管理の経済的側面) への暫定改定案
250	Egypt	Proposed Revisions to the Working Document towards Draft CPM Text on WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題 1.19 に関する CPM テキスト案に向けた作業文書に対する改定提案
251	Finland	Proposed modifications for the resolution in the method B2 in the working document towards draft CPM text on WRC-12 agenda item 1.19	WRC-12 議題 1.19 に関する CPM テキストに向けた作業文書における Method B2 の決議の修正提案
252	Finland、 Netherlands	Development of CPM text for WRC-12 agenda item 1.19	WRC-12 議題 1.19 に関する CPM テキストの作成
253	United Arab Emirates	Proposed revisions to the working document towards the harmonization of frequency bands for SRD frequency bands regionally or globally available for short-range devices (SRDs)	SRD への周波数帯の協調及び SRD の地域もしくは世界的利用可能な周波数帯に向けた作業文書に対する改定提案
254	United Arab Emirates	Preliminary draft modification of Report ITU-R SM.2153	報告書 ITU-R SM.2153 の暫定修正案
255	United Arab Emirates	Chairman of the Correspondence Group on revision of Report ITU-R SM.2012-2 "Economic aspects of spectrum management"- Report on the activities within the Correspondence Group	コレスポネンスグループ議長の報告書 ITU-RSM2012-2 (周波数管理の経済的側面) の改定コレスポネンスグループの活動報告
256	United Arab Emirates	Sharing studies in accordance with resolution 953(WRC-07) Impact of introducing RFID in GSM-900 guard band (915-925 MHz)	決議 953 に基づく共用検討 GSM-900 ガードバンドにおける RFID による影響
257	Luxembourg	Proposed modification to working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2 の CPM テキスト案の修正提案
258	Telenor ASA	Proposed modification to working document towards draft CPM text on wrc-12 agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2 の CPM テキスト案の修正提案
259	United Arab Emirates	Modifications to the working document towards Draft CPM Text on WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2 の CPM テキスト案の修正
260	USA	Working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2 の CPM テキスト案
261	WP7B	Liaison statement to Working Party 1B - WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2 に関する WP1B へのリエゾン文書
262	WP 7D	Liaison statement to Working party 1B on the study of software-defined radio and cognitive radio systems	ソフトウェア無線およびコグニティブ無線システムの研究に関する WP1B へのリエゾン文書
263	BR	List of documents issued	寄与文書リスト
264	WP 7C	Liaison statement to Working Party 1B - WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2 に関する WP1B へのリエゾン文書
265	WP 5D	Liaison statement to Working Party 4A	WP4A へのリエゾン文書

出力文書

文書 番号 (1B/TEM P/##)	表題	備考 (提出元)	
58	Draft revision of Report ITU-R SM.2012-2	報告書 ITU-R SM.2012-2 の改定案	WG1B-1
59	Reply liaison statement to the TSAG and JCA-NID Chairmen on the involvement of the ITU-R Sector in the JCA-NID to address coordination of NID/USN/RFID standardization	TSAG および JCA-NID 議長への回答リエゾン文書	WG1B-1
60	Draft modification of Report ITU-R SM.2153	報告書 ITU-R SM.2153 の修正案	WG1B-1
61	Draft modification of Report ITU-R SM.2093	報告書 ITU-R SM.2093 の修正案	WG1B-1
62	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WRC-12-AI-1.2]	暫定新報告書案 ITU-R SM (WRC-12 議題 1.2) に向けた作業文書	WG1B-3
63	Preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[SRD] Frequency bands regionally or globally identified for short-range devices (SRDs)	SRD の地域もしくは世界的利用可能な周波数帯に向けた暫定新報告書案 ITU-R SM (SRD)	WG1B-1
64	Preliminary draft new Report ITU-R SM.[RFID]	暫定新報告書案 ITU-R SM (RFID)	WG1B-1
65	Preliminary draft new Resolution ITU-R [CRS] - Studies on the implementation and use of cognitive radio systems (CRS)	暫定新決議案 ITU-R (CRS)	WG1B-2
66	Draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19 - Chapter 6	WRC-12 議題 1.19 に関する CPM テキスト案	WG1B-2
67	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1413-2 - Radio communication Data Dictionary (RDD)	勧告 ITU-R SM.1413-2 の暫定改定案	Ad-hoc
68	Terms of reference for the Correspondence Group on development of the working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WRC-12-AI-1.2]	暫定新報告書案 ITU-R SM (WRC-12 議題 1.2) に向けた作業報告の作成に関するコレスポネンスグループの ToR	WG1B-3
69	Draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.2 - Chapter 6	WRC-12 議題 1.2 に関する CPM テキスト案	WG1B-3